

みんなで実現！  
おもしろ  
アイデア

18選

2019-2020



## はじめに

平成23年3月11日、東日本を襲った未曾有の大震災から9年が過ぎました。被災地では今も復興に向けて、さまざまな新しい取り組みが生まれています。

復興庁は、平成30年度より、被災事業者の資金調達手段を多様化するため、「復興庁クラウドファンディング支援事業」（被災地企業の資金調達等支援事業）を開始しました。

2年目の令和元年度は、60件の多種多様なプロジェクトが立ち上がりました。水産加工品を中心とした販売・交流施設の建設、被災した酒蔵の復活と限定地酒の開発、そして、自治体によるアートを通じた交流拠点の整備などのプロジェクト等です。

これらはどれも、被災地に希望の光を灯そうと活動する復興の担い手と、その活動を応援する全国の支援者が協力してみんなで実現するユニークで創意工夫にあふれたプロジェクトばかりです。

本冊子でご紹介できる事例は、全体のほんの一部ですが、これからクラウドファンディングを実施してみようと考えている皆さまやさらなる復興に向けて応援されたい皆さまのご参考となれば幸いです。



# 目次

クラウドファンディング概要	01	
復興庁クラウドファンディング支援事業概要	03	
Column 1 審査委員メッセージ	05	
Column 2 資金調達だけではない クラウドファンディングの魅力	07	
Column 3 東北におけるクラウドファンディング	09	
おもしろ アイデア 18選	1 PICK UP 陸前高田市 [岩手県 陸前高田市]	11
	2 PICK UP 有限会社佐々木酒造店 [宮城県 名取市]	17
	3 PICK UP 合同会社はまから [福島県 いわき市]	23
	4 株式会社いわてラボ [岩手県 雫石町]	29
	5 有限会社神田葡萄園 [岩手県 陸前高田市]	30
	6 タヤマスタジオ株式会社 [岩手県 盛岡市]	31
	7 有限会社宝来館 [岩手県 釜石市]	32
	8 石巻ウェディング [宮城県 石巻市]	33
	9 井原健児 [宮城県 南三陸町]	34
	10 一般社団法人 Granny Rideto [宮城県 仙台市]	35
	11 CHOOSE FOODS [宮城県 仙台市]	36
	12 Kokage Kitchen [福島県 川内村]	37
	13 I♥NISHITA プロジェクト [福島県 郡山市]	38
	14 合資会社 旭屋 [福島県 相馬市]	39
	15 株式会社阿部農緑 [福島県 須賀川市]	40
	16 竹藤 [福島県 会津若松市]	41
	17 二本松霞ヶ城四季花火プロジェクト [福島県 二本松市]	42
	18 株式会社ホップジャパン [福島県 田村市]	43
Appendix 1 令和元年度復興庁クラウドファンディング支援事業採択事業者マップ	44	
Appendix 2 令和元年度復興庁クラウドファンディング支援事業採択案件一覧	47	
Appendix 3 令和元年度復興庁クラウドファンディング支援事業実績一覧	53	

## 活動概要（令和元年度）

- 「被災地企業の資金調達等支援事業」（復興庁クラウドファンディング支援事業）は、クラウドファンディングを活用した資金調達のノウハウをお伝えし、東日本大震災からの復興を盛り上げたいという方をサポートするプログラムです。復興庁では、基本的なポイントやコツから PR のやり方まで、クラウドファンディングのことは全く分からないという方でもスタートできるようにゼロからサポートしています。
- 令和元年度は、この事業を通じて、延べ 60 の事業者による総額 1 億円のクラウドファンディングによる資金調達をご支援しました。その中で 52% の方が目標金額を達成し、目標金額に対する資金調達額の割合は 82% に達しました。

### 多くの事業者様をご支援しました（令和元年度実績）

60 件

クラウドファンディング  
実施件数

1.0 億円

総資金調達額

82 %

資金調達額の達成率

# クラウドファンディングとは

- 「クラウドファンディング」とは、英語のクラウド（群衆）とファンディング（資金調達）を組み合わせた合成語で、インターネット上で、不特定多数の支援者から、組織や個人、プロジェクトなどに対して、資金を集める仕組みです。
- インターネットで皆さまから出資を募るクラウドファンディングは、比較的新しい資金調達の仕組みでさまざまな分野から注目を集めています。今までにはなかった資金調達ができる反面、まだまだ始まったばかりの仕組みに不安を感じる方もいるかもしれません。そこで、まずはクラウドファンディングの特徴を解説します。

## クラウドファンディングの特徴

その  
1



**インターネットを通じて  
全国の人に呼び掛けが  
できます**

クラウドファンディングのプラットフォームサービスを通じて、あなたが実現させたいプロジェクト（新商品開発、事業拡大、地域活動 etc.）をアピールし、支援を呼び掛けます。

クラウドファンディングのプラットフォームサービスは、複数ありますが、実現したいプロジェクトの特徴に応じて選択します。

その  
2



**どんなアイデア・分野  
でも利用できます**

個人でも企業でも、実現したいアイデアがあれば、分野や規模、内容は問いません。多くの人に伝えたいあなたの想い・アイデアがあれば、クラウドファンディングとしてスタートすることを検討してみましょう。

ビジネス以外にも、地域貢献や医療・福祉、まちづくり、子どもや老人のサポート、若者やクリエイターの支援など、さまざまな目的でクラウドファンディングは活用されています。

その  
3



**プロジェクトの性質に  
併せて必要な資金を  
集めることができます**

クラウドファンディングの実施方法には、All or Nothing 方式と All In 方式の2種類があります。

All or Nothing 方式は、初めに設定した目標金額を調達期間内に達成できた場合のみ支援が得られ、資金調達ができます。目標を達成できなかった場合は資金は得られません。

一方、All In 方式は、目標金額が未達成でも集まった資金に応じて支援が得られます。

どちらの方式にも優劣はなく、プロジェクトの性質に併せて実施方法を選択すると良いでしょう。

その  
4



**出資者へのリターンも  
アイデア次第です**

クラウドファンディングの種類には、「購入型（予約販売型）」、「寄付型」、「投資型」などがあります。

「購入型」は、クラウドファンディング実施時に約束した製品やサービスを資金調達後に出資者に返礼として提供します。「寄付型」は、製品やサービスによる返礼はありませんが、お礼の手紙をお送りしたり、活動報告をして、感謝の想いをお伝えしましょう。

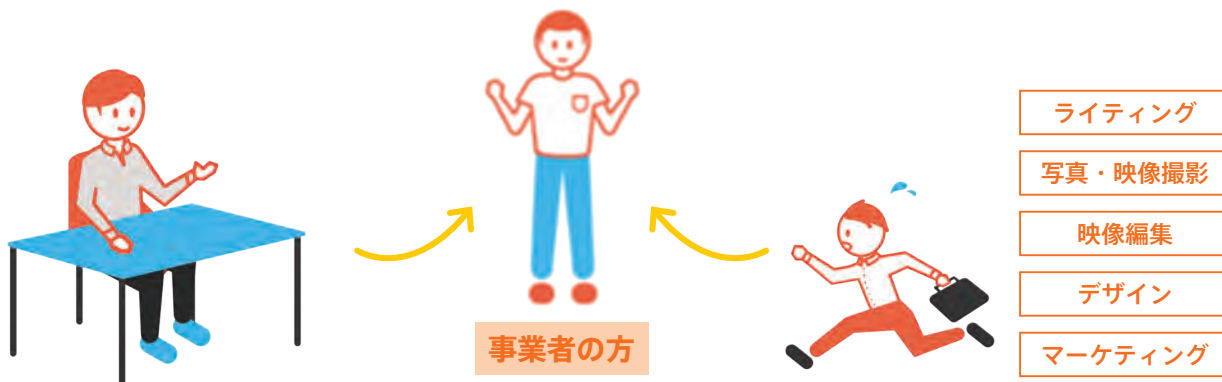
「投資型」は分配金などの金銭的なリターンで返礼するものです。



# 復興庁のクラウドファンディング支援事業の特徴

- クラウドファンディングを実施するにあたっては、返礼品の設計や支援者に訴え掛けるストーリー作りから始まり、ページに掲載する文章の作成や写真素材の手配まで、さまざまな準備が必要になります。また、資金調達を開始した後も、目標金額を達成するまで、粘り強く支援者へ呼び掛け続ける熱意も求められます。
- これらを実施するのは、**あくまでもプロジェクトオーナーであるあなたです！**でも、初めての挑戦では何から始めたら良いかも分からず、迷う事も多いはず。そんなあなたを、「復興庁クラウドファンディング支援事業」では、**伴走型支援と専門家派遣のダブルサポートで、ゼロからサポートします！**

## 伴走型支援と専門家派遣のダブルサポート



### 伴走型支援

クラウドファンディングに知見のあるコーディネーターが、企画段階から伴走支援します。「興味はあるけど何から始めていいかわからない」「支援者は集まるかな？ 経験者に聞いてみたい」などなど、クラウドファンディングを実現するためにさまざまな悩みを膝を突き合わせて相談できます。

### 専門家派遣

企画アイデアの具体化や、魅力を伝えるための写真や動画の制作等、あなたのプロジェクトの魅力を多くの人に伝えるために、さまざまな分野から、あなたのニーズに合った専門家を派遣します。

# 復興庁のクラウドファンディング支援事業の実施体制

## 復興庁クラウドファンディング事業の実施体制(令和元年度)



※この支援事業のために登録した事業者を掲載

## クラウドファンディングの力を地域に



株式会社ナウキャスト取締役会長  
内閣府近未来技術実装有識者会議委員

## 赤井 厚雄

クラウドファンディングは被災地の事業にお金を送るだけのものではありません。それは、お金と「想い」をつなぎ、「人」をつなぎ、なりわいの再生と持続を支えるものです。クラウドファンディングは、日々進化しています。例えば不動産のクラウドファンディングや投資型のクラウドファンディング。これらを適正に活用すれば足の長い資金と、長く付き合える「応援団」としての出資者を集めることができます。その進化を復興に活かす取り組みをこれからも応援していきます。

## クラウドファンディング支援事業の意義



福島大学 経済経営学類  
教授

## 吉高神 明

東日本大震災からの被災地の復興にとって、地域産業への支援は不可欠です。現地で活動する企業、NPO、個人等は自立的な資金調達を実現する上で、今も多くの困難に直面しています。そのため、広範囲かつ地域に根ざした支援体制を構築することが急務となっているところです。地元で活動する多くの事業者たちの「アイデア」や「情熱」と、被災地の復興を願う応援者たちの「善意」をクラウドファンディングでつなぐ本事業が、被災地の復興に資することを確信しています。

## クラウドファンディングへの期待



株式会社日本政策投資銀行  
東北復興・成長サポート室長

## 門田 敦嗣

金融機関や投資家からの事業資金調達は、リターンとしてキャッシュが求められるため一定の事業収益性を追求する必要がありますが、クラウドファンディングでは事業者自らが実現可能なリターンを設定し資金調達リスクの抑制が可能であるとともに、事業PRやマーケティングへの活用により顧客や支援者を獲得する効果が期待できます。クラウドファンディングによる資金調達が事業リスク低減や顧客・支援者獲得に活用されて新たな挑戦の呼び水となり、被災地の活性化につながる多くの挑戦が事業化されることを期待しています。

## 東北の資源を活かしたクラウドファンディング



跡見学園女子大学 マネジメント学部  
マネジメント学科 准教授

## 許 伸江

本年も農業やサービス業、宿泊業、卸売業などさまざまな分野からの事業案が寄せられました。その中でも共通していたのは、農産物や文化、伝統、コミュニティなど地元の資源をもっと知ってもらいたい、もっと活かしたいという熱い想いです。東日本大震災から9年が経ち、地域に腰を据えて、人々の幸せを願い、事業に取り組む姿勢が印象的です。本事業を介して、被災地を応援したい人たちと事業者の皆さまがうまく結びつき、事業が実現・発展することを願っております。



## 人々の想いをつなぐ復興の新しい形



石巻専修大学 経営学部  
准教授

### 工藤 周平

復興を促進するためには、被災地の新たな魅力を高めていくことが必要不可欠となります。音楽の力で街を盛り上げる案、地元の魅力ある風景や文化を後世に伝える案、新しい食を提案する案など、地域の魅力を向上させるさまざまな事業案が出されました。本事業は、そうした地域を盛り上げたい人々とそれを応援したい人々の想いをつなげ、地域内外の人々が一体となって被災地の活性化に関わることができる新しい手法です。

## 復興へのつながりをもう一度東北へ



一般財団法人ダイバーシティ研究所  
代表理事  
復興庁復興推進参与

### 田村 太郎

震災から年月が過ぎ、地域の課題が震災に起因するものなのか他の地域にも共通するものなのかが見えにくくなるなか、今回の案件ではこれまで被災地に関わっていた人たちとの間にもう一度、つながりを取り戻すことで、まだ道半ばの東北の復興を力強いものとしていこうとするさまざまな工夫が見られました。他地域でも災害が相次ぎ、東北への関心も薄れつつあります。今後もクラウドファンディングの特性を活かした新たなチャレンジを期待したいです。

## 共感の連鎖による地域再生



宮城大学  
事業構想学群地域創生学類学類長  
准教授

### 佐々木秀之

いかにして共感を得るのか。投資者は、事業に対する想い、その事業の本物性、仕組みのデザインを期待している。本事業では共感が投資に変わる時代の到来を感じた。自治体によるガバメントクラウドファンディングや高校生によるチャレンジもみられ、時に出資者も投資を通して当事者となる共感の連鎖が生まれている。今後の課題は、被災地の知見の集積と発信、事業性を加味した持続可能性への挑戦である。

## クラウドファンディングは自ら解決する力を養う場



一般社団法人東北経済連合会  
調査役

### 宮崎 健治

採択案件の完成したクラウドファンディングページを拝見しますと、その多くが支援を通じて自ら学び、具体化に向けて事業計画をブラッシュアップした努力が伺えます。このように被災地のソーシャルコミュニティで、“自ら解決する力”が養われていることは、本事業の副次効果でありながら、大きな成果ではないでしょうか。是非、次年度も事業が継続された場合は、さらに多くの方々にチャレンジしてもらいたいと願っています。

# ポジティブな発信でチャンスをつかみましょう

株式会社マクアケ 共同創業者／取締役

坊垣 佳奈

## モノやサービスを「応援購入」する

Makuake では、クラウドファンディング（以下、「CF」）を活用した 500 件以上のプロジェクトが常に動いていて、その多くが「購入型」と呼ばれるリターンに製品やサービス、体験が提供されるタイプです。

企業や個人が、CF サイトを通じて商品のアイデアやこだわりなどを発信。それを見て「欲しい!」「応援したい!」と思った人がお金を出し、リターンとして商品を手に入れることができる。弊社では、このやり取りを「応援購入」と呼んでいます。

商品を作りたい事業者にとって応援購入の活用は、資金調達だけが目的ではありません。どんなに魅力的な商品であっても、発売に至るまでにはクリアすべきことがたくさんあります。具体的には、テストマーケティングやプロモーション、販路の確保、必要なお金を集めることなどで、小さな事業者にとってはどれも大きなハードルです。そこで、専任担当者がサポートし一つずつハードルを取り除きながら、新しい商品を生み出すサポートを行っています。

応援購入は、売り出したい商品がリターンであるため、リターンの人気や購入者の声がそのまま商品の評価となります。また、終了後に商品を届けるため、受注販売に近い形となり、在庫を抱える心配がありません。多くの購入者が集まり話題になれば、バイヤーから「商品を置かせてください」とオファーが来ることも。事業者にとって、資金を調達する他にもたくさんのメリットがあるのです。

## 尖ったプロジェクトを作るには

多くの人から注目を集め、応援購入を成功させるポイントは、その商品や体験に「新しさ」や作り手の情熱が感じられるかです。弊社のプラットフォームに集まる人の多くは、新しく尖ったプロジェクトを求めています。

新しさとは、ゼロから新商品を作ることだけではありません。既存の商品に新たな価値や視点を付け足すことでも生み出すことが可能です。例えば、パッケージデザインをリニューアルする、異なるジャンルとのコラボ商品で売り出す、地元だけで流通しているものを全国展開させるなど、人が「新しい」と感じてくれるようなアプローチはたくさんあります。

プロジェクトページを尖らせる努力も大切です。人が「いいな」と感じる写真やテキスト、キャッチコピーなどの準備に、事業者がどれだけ情熱を注ぎ込んだのかは、サイトを見れば一目瞭然。せっかくのアイデアが、無数のプロジェクトの中に埋もれてしまわないためにも、プロジェクトのクオリティを高める工夫が必要です。

また、CF サイトは、事業者と商品を買いたい人とのコミュニケーションの場でもあります。「買ってください」というメッセージではなく、アイデアの誕生から開発の過程、購入者が商品を手にする喜びまでの物語を発信しましょう。ストーリー性のあるメッセージを上手に届けることができたプロジェクトは、成功の確率が高く、購入体験

がきっかけでその後も購入者であり続ける「お客様」の獲得にもつなげています。

作り手が消費者に直接商品の価値を伝えることができる応援購入は、大きなビジネスに発展する可能性を秘めています。

## 日本の CF にも ポジティブなメッセージを

日本で初めて CF サービスが始まった 2011 年に、東日本大震災が発生したこともあり、日本の CF は寄付文化と共に全国に広がったと言えるでしょう。

これからは、被災地でも「復興に向けて新しいものを作りました!」というポジティブなメッセージを持ったプロジェクトがもっと増えてほしいなと思っています。そこにお金を出したいと感じて応援購入する人が、数カ月から半年の間、ワクワクしながら製品が届くのを待つ。そんな、「応援する気持ちも伴ったお買い物の感覚」に近い世界が浸透し、全国各地の事業者の皆さんの新しい挑戦がさらに広がることを願っています。

日本には、まだ世の中に発信できていない素晴らしいものが山ほどあります。それは工業製品に限らず、農産物や海産物、日本食、ファッション、飲食店などさまざま。それらをちゃんと表舞台に立たせてあげられるのが CF です。弊社は、「生まれるべきものが生まれ 広がるべきものが広がり 残るべきものが残る世界の実現」をビジョンに掲げ、これからも全力でサポートしていきます。

東北には、食やお酒、伝統工芸品、加工品など価値あるモノがたくさん眠っています。ビジネスチャンスを広げるためにも、チャレンジしてみてください。

### まとめ

- 新しい商品やサービスを生み出すチャレンジができる。
- 「新しさ」と「情熱」が尖ったプロジェクトを作る。そのアプローチはさまざま。
- 消費者と直接コミュニケーションが図れる場。お客様の獲得も可能。
- ポジティブなメッセージで、CFの可能性が広がる。



# 東北にクラウドファンディングの文化を創りましょう

株式会社エフライフ 代表取締役

小笠原隼人

## トレンドは「再生」から「創造」へ

日本でも急速に普及しているクラウドファンディング（以下、「CF」）。「復興庁クラウドファンディング支援事業」でも、2年間で100を超えるプロジェクトが東北の被災地で生まれています。私は本事業の地域コーディネーターとして伴走型支援を担当し、事業計画の作成やCFサービス事業者の選定、効果的な情報発信などのさまざまなサポートで、事業者の皆さんと共にゴールを目指しました。

初めの頃は、CFのチャレンジを迷っている多くの方から「知らない人からお金をもらうことに抵抗を感じる」「甘えているような気がする」という声を聞きました。しかし、CFは決して楽な事業ではなく、プロモーションをかなり頑張らないとなかなか目標額まで資金を調達することは叶いません。また、支援者には「リターン」という形で応える必要があるため、相応の責任が発生する立派なビジネスなのです。振り返れば、本事業における私のサポートは、こうした「CFに関する誤解」を解くことから始まりました。

東北におけるCFの流れは、これまで主流だった震災で失ったものを「再生するプロジェクト」から、新しいものを「創造するプロジェクト」に移行していると感じています。そのため、新たなチャレンジやプロダクトにCFを活用するニーズが高まりつつある被災地において、このタイミングで本事業が始まったことは、とても良かったなと思っています。

## 最初の仲間集めが非常に大切

CFでは、プロジェクトの魅力と同じくらい見られているのが、プロジェクト実行者の魅力です。目標金額に到達したプロジェクトの多くが、実行者の本気と自信が伝わりたくさんの共感を集めたという点で共通しています。これが、CFが資金調達だけではなく仲間集めのツールだと言われる理由です。そして、仲間集めのカギを握っているのが、アーリーアダプター（初期の支援者）の存在です。

CFでは、直接の知り合いや友達が支援者全体の3分の1を占めると言われていて、その多くがプロジェクト公開初期に支援をしてくれます。そして初期に支援がたくさん集まるプロジェクトは、その後に続くハードルがグッと下がり、新たな支援者を獲得しやすい。これは、ライブ会場で最初に手拍子を始めた観客が起点となって、大きなムーブメントに波及していくイメージに近いと思います。

また、CFを立ち上げておもうようにお金が集まらない時、周囲から「無謀だ」と批判を受けた時には、本当に心が折れそうになります。アーリーアダプターは、お金だけではなくメンタルの面でも、あなたの大きな支えとなってくれるでしょう。

ですから、CFの成功の秘訣は、できるだけ多くのアーリーアダプターを事前に確保することです。それは一朝一夕でできることはありません。いざ行動を起こしたときにたくさんの方が応援してくれるように、普段から人間関係を大



切にすることを心掛けてください。

## 小さなチャレンジを 東北各地に広げましょう

「CFは魅力だけど、ウチは何もない田舎だから……」と不安そうに私のところへ相談に来る方がいらっしゃいます。しかし、どの地域にも「ダイヤの原石」はあるはず。それは、意外とこれまで地域では見向きもされなかったものだったりします。

実際、古民家や空き店舗といった「これまで使い道が見つからなかった遊休資産」に新たな価値を創造するプロジェクトが全国で成果を上げていますし、本事業で立ち上がったプロジェクトの中にも事例があります。あなたが住む地域にも眠っていた資源が、CFの活用で価値あるものに生まれ変わるかもしれません。

私の願いは、東北にCFの文化が根付くことです。そのためには、これからも東北の各地で小さなチャレンジが立ち上がり、体験とノウハウの蓄積が進んでほしいと思っています。もともと、東北には「結」や「講」といった共助の文化が根強く残っています。CFはそれを現代風にアレンジしたものだと考えると、「やってみよう！」という気持ちが芽生えるかもしれません。

本事業を通じて、東北でもCFのノウハウがかなり蓄積されました。今回、目標を達成した事業者の皆さんには、その成功体験を地域に還元してほしいと思います。一つのチャレンジが次のチャレンジを生むという循環が生まれれば、CF文化の定着にさらに近づくと考えています。

### まとめ

- CFは立派なビジネス。だから迷わずチャレンジ。
- 東北でも新しいモノ・コトを創造するプロジェクトが増えている。
- 実行者の本気度と最初のフォロワーの確保が成功のカギを握る。
- 地域に眠る資源もCFで生まれ変わる可能性あり。



PICK UP 1

「ふるさと納税」原点回帰の切り札  
ガバメントクラウドファンディングで  
まちが目指す復興の未来像を全国に！

陸前高田市 [岩手県 陸前高田市]





岩手県沿岸南部に位置する陸前高田市は、東日本大震災の津波によって市街地を中心に壊滅的な被害を受けた。同市では、復興支援を機につながり生まれたシンガポールから障がい者アーティストを招へいし、アートを通じた文化交流プロジェクトを計画。事業費の一部をガバメントクラウドファンディングで調達することにした。ガバメントクラウドファンディングとは、ふるさと納税制度を活用して行うクラウドファンディングのこと。同市では初めての試みとなった。

## 誰もが取り残されることの無い 共生まちづくりを復興の柱に。 先進国シンガポールから学びたい。

陸前高田市では、「ノーマライゼーションという言葉のいないまちづくり」を復興の基本理念に掲げ、誰もが活躍できる共生まちづくりの実現を進めている。ノーマライゼーションとは、障がいのある人とない人が平等に生活する共生社会の実現を目指す考え方のことである。

「今回、共生まちづくりの先進国シンガポールから障がい者アーティストをお招きして、アートを通じた文化交流を進めることになりました」と地域振興部観光交流課の吉田ゆう子さんは説明する。「プロジェクトを通じて、市民の皆さんがシンガポールから共生まちづくりを学ぶ機会を創出します」。

同市では、全世帯の99.5%が津波と地震による被害を受け、1,761人（行方不明者含む）が犠牲となった。「障がいのある人や高齢者など『要支援者』と呼ばれる市民の中から多くの犠牲者が出てしまいました」と吉田さん。被災地全体でも、障がいのある人の犠牲率は全体と比べて約2倍だったという報告がある。こうした背景もあり、同市では障がい者や高齢者、妊産婦や子ども、外国人やLGBT※など多様な人たちが、

安全安心に自分らしく生きることのできるまちづくりを目指すことになった。

2015年には、コミュニティホールが完成。建設にあたりシンガポール赤十字社を通じて7億円の支援を受けたことから、館内の多目的ホールは、「シンガポールホール」の愛称で市民から親しまれている。その後も交流を進める中で、同国が多様性を重視し多様な人たちが活躍できる国づくりを進めてきたことを知った。

吉田さんは、「復興支援がきっかけでつながりが生まれたシンガポールを手本に、取り残される人が生まれることのない、誰もが活躍できる共生まちづくりを進めることになりました」と話した。

※ LGBT……女性同性愛者、男性同性愛者、両性愛者、トランスジェンダーの各英単語の頭文字からとった「性的少数者」を表す言葉の一つ



地域振興部 観光交流課 主事  
吉田ゆう子さん

## 陸前高田市初となるガバメントクラウドファンディング。 専門家のノウハウを活用して プロジェクトの目的と効果を発信する。

プロジェクトを進めるにあたり、今回初めて必要な費用の一部をガバメントクラウドファンディング（以下、「GCF」）から調達することにした。GCFは、ふるさと納税の寄付金の「使い道」を具体的に示し、そのプロジェクトに共感した支援者から寄付を募る仕組みである。近年、返礼品競争の過熱が問題視される中、本来の目的に見合ったふるさと納税の新しい形として、全国の地方自治体から脚光を浴びている。

吉田さんは、「自治体の取り組みを全国に向けて発信できることもGCFのメリットの一つです」と話す。共生社会の実現を目指す同市において、障がい者アートを通じた交流プロジェクトは、GCF初挑戦にふさわしいテーマであると思ったという。

集めた支援は、障がい者アーティストの招へいや市民との交流と共同制作、コミュニティホールへの政府公認マーライオン像の設置に必要な費用の一部に充て

る。目標金額は240万円に設定した。

リターンには、市内在住の障がい者アーティストで、陸前高田市ノーマライゼーション大使を務める田崎飛鳥さんが描いたポストカードを用意。陸前高田とシンガポールをつなぐ象徴として、奇跡の一本松とマーライオンがそれぞれ描かれている。さらに、ふるさと納税の返礼品の中で人気を集めたブランド米や地酒、地元産の肉や海産物などもリターンに加えた。

障がいのある人が暮らしやすい街になれば、誰もが暮らしやすくなると信じている。共生まちづくりの先進地域から学び、市民や関係者の意識を変えるきっかけにつなげたい——。吉田さんは、プロジェクトへの想いやどんなことを市民に還元していくかについて、GCFサイトを通じて発信した。ライターに文章の校正を依頼し、クラウドファンディングプラットフォームの担当者からメッセージを発信するタイミングについてアドバイスを受けた。

「本市が掲げる共生まちづくりの理念とプロジェクトの内容をより多くの方に伝えられるように、専門家の力を最大限に活用しました」。

### クラウドファンディング情報

CF開始  
2019/11/22

CF終了  
2020/2/28

目標金額 **240万円**

CFのタイプ ……All In方式 (GCF)  
調達金額 ……**2,148,000円 (90%)**  
支援者数 ……**117人**

CFサービス事業者 ふるさとチョイス  
CFサイト <https://www.furusato-tax.jp/gcf/727>





## 一喜一憂の連続だった 99 日間。 寄付金に加えて得ることができた 多くの人の声と後押しが自信に。

2019 年 11 月 22 日、99 日間の GCF がスタートした。在京陸前高田人会や震災復興に協力した支援者にクラウドファンディングの立ち上げを周知。これまでふるさと納税で寄付をした人にも、メールマガジンで発信した。

「初めての挑戦だったこともあり、全てが手探りで不安だらけのスタートでした」と吉田さんは話す。初日から支援が集まり始め、驚きと喜びを感じた。しかし、数日後にペースダウン。さらに広く情報発信し、プロジェクトをできるだけ多くの人に知ってもらう方法を模索した。「プロジェクトの内容と GCF 実施を周知するチラシを作成し、東京や大阪、九州で行った物販イベントの会場で配りました」。

12 月末でおよそ 25%、募集を締め切る 2 月になっても目標金額の半分に満たない状況に、吉田さんは焦りを覚えたが、良い結果を信じて決して諦めなかつ

た。支援者からの「故郷の役に立ちたい!」「応援しています」という声も勇気を後押しした。結果は、最終週に驚異の追い上げを見せ、117 人からおよそ 214 万円の寄付が集まった。目標金額にはあと一歩及ばなかったが、プロジェクトを充実させるには十分な金額。「皆さんからの支援は有効に活用させていただきます」と吉田さんは胸をなでおろした。

今回の挑戦で、GCF に関するさまざまなノウハウを得ることができた。そして、行政の取り組みを広く発信する手段としての可能性を再認識できた。吉田さんは「多くの人に発信し支援を集めるため、これまで以上にプロジェクトの目的や内容と真剣に向き合いながら準備を進めることができました。皆さんの反応が直接届くので、モチベーションにもつながりました」と話した。

復興の槌音が響く陸前高田市では、これまで多くの力に支えられてきた。今回 GCF によって集まった支援が、また一つ新たな花を咲かせようとしている。「その責任を受け止め、必ずプロジェクトを成功させたいと思います」と吉田さんは言葉に力を込めた。



### 事業者情報

## 陸前高田市

所在地	岩手県陸前高田市高田町字鳴石 (陸前高田市役所)
発足	1955 年
市長	戸羽 太
WEB	<a href="https://www.city.rikuzentakata.iwate.jp/">https://www.city.rikuzentakata.iwate.jp/</a>





# PICK UP 2

クラウドファンディングを  
企業 PR も兼ねて活用  
復活蔵最初の日本酒を限定で届ける！

有限会社佐々木酒造店 [宮城県 名取市]

有限  
会社 佐々木酒造店



宮城県中央南部の太平洋沿岸に位置する名取市<sup>ゆりあげ</sup>閑上地区は、東日本大震災直後に発生した津波によって壊滅的な被害を受けた。この地で140年にわたり地酒を作り続けてきた有限会社佐々木酒造店も例外ではなかった。2019年10月、8年ぶりに故郷・閑上に帰ってきた酒蔵の復活を全国の日本酒ファンに発信したい――。若き酒づくり職人が選んだのは、クラウドファンディングでの限定酒の発売だった。

## 8メートル超の津波が襲った街。 再建を目指す酒蔵の門をたたき 酒づくりの道へと歩み出す。

「酒蔵の復活と閑上の酒のことを、たくさんの人に広く発信したいという思いから、クラウドファンディング（以下、「CF」）にチャレンジすることにしました」と有限会社佐々木酒造店<sup>くらげと</sup>の蔵人、立川哲之さんは語った。蔵人とは、日本酒づくりに従事する職人のこと。立川さんは、3年前から佐々木酒造店の冬季蔵人として、日々酒づくりに全身全霊を捧げている。

同社は、仙台藩政時代には直轄の漁港として繁栄した閑上地区で1871年（明治4年）に創業。以来、140余年にわたり、脈々と受け継がれてきた銘柄<sup>ぼら</sup>「宝船浪の音」は、閑上の地酒として漁師や住民をはじめ地元を中心に愛され続けた。

2011年3月11日、太平洋に面した閑上地区に8メートルを超える津波が襲った。当時5600人ほどが暮らしていた街並みのほぼ全てが流され、700人以上が帰らぬ人となったという。佐々木酒造店は、後に全棟が全壊判定となるものの、コンクリート製だった酒蔵は、当日なんとか持ちこたえた。避難した酒蔵の屋上で、店舗や故郷が壊れていく様子を見守るしか

なかったという専務取締役の佐々木洋さんは、すぐに閑上での再建を心に誓ったという。

「かさ上げ工事が終わるまで、同じ名取市内の内陸部にある復興工業団地の中に仮設蔵を設け、2012年の秋から酒づくりを再開しました」。そう説明する立川さんが酒づくりの道を志したのは震災後、大学生の時までさかのぼる。

東京都出身で、大学生の時には東北の食と日本酒を発信する復興支援団体を立ち上げ、岩手、宮城、福島を中心に東北地方にある20蔵ほどの酒蔵と交流を深めた。卒業後、都内でベンチャー企業に就職したが、「日本酒の仕事をして生きていきたい」と退職。そんな立川さんを快く受け入れてくれたのが、佐々木酒造店だったという。



蔵人  
立川 哲之さん

## CFの集客力と拡散力に注目。 「搾りたて」と「ストーリー性」を 意識したブランディング。

2019年5月、かさ上げ工事と区画整理事業が完了した閑上地区で「街開き」が開催された。住宅や商業施設が再建されていく中、佐々木酒造店でも復活の準備が着々と進められていた。

復活蔵で最初に搾る特別な酒。広く知ってもらうためには、どうすれば良いのだろうか——。そう思案していた立川さんが導き出した答えはCFだった。「大学生の時、東北の食に関する復興イベントを開催するためCFで資金を調達しました。その経験からCFは資金調達だけではなく、広報活動やテストマーケティングにも効果的なツールだと感じていました」。

復興庁でクラウドファンディング支援事業のエントリーを募集していることを知り、「国からの支援が受けられるのなら、負担やリスクを減らせるはず。会社にも提案しやすい」と思い応募を決めたという立川さん。佐々木専務からの了解を得ると、早速CF限定商品を

謳った復活酒プロジェクトの準備に動き出した。

支援者へのリターンとして贈る商品には、復活蔵での仕込みで作られる宝船浪の音のうち、最初に搾る酒をCF限定で用意。本醸造酒、純米酒、純米吟醸酒の3種類を「無濾過原酒」「一回火入れ」の状態を提供することにした。無濾過原酒とは、搾った直後の酒に濾過も割水（水を加え風味とアルコール度数を調整すること）も施さないもの。また、一回火入れとは、酒の発酵を止めるため搾った直後と出荷前の2回で行う加熱処理を、1回に抑えることである。

「できるだけ搾りたてに近い形でお酒を届けることで、購入いただく皆さんに“宝船浪の音の復活”を直に感じていただきたいと思いました」。

用意した商品数をベースに、目標金額は300万円に設定。CFサイトに掲載する文章は、「宝船浪の音や佐々木酒造店のことだけではなく、閑上の全てを伝えたい」という考えから、佐々木専務からヒアリングした酒蔵復活までのストーリーを丁寧に伝えることを心掛けた。

### クラウドファンディング情報



CFのタイプ ……All In方式  
調達金額 ……5,851,000円 (195%)  
支援者数 ……630人

CFサービス事業者 Makuake  
CFサイト <https://www.makuake.com/project/sasakishuzouten/>







## わずか6日間で目標を達成。 支援者の声をヒントに 新たなリターンも提供。

立川さんは、CFスタート前の周知にも力を入れた。日本酒関連のイベント会場で、多くの人に10月に酒蔵が復活することに加え9月からCFを立ち上げることも伝えた。さらに、SNSを活用して日本酒に関して発信力のある人にも周知した。「皆さんには支援していただくこと以上に、情報を広げたり応援してくれたりしていただけることを期待しました」。

こうした地道な準備が功を奏し、2019年9月21日にCFを開始すると、6日目で目標金額の300万円に到達。最終的には2倍近い金額の支援が集まった。仮設蔵で一番人気だった純米吟醸酒が10月で完売となったため100本を用意。「仮設蔵の酒と飲み比べてみたい」という支援者の声を受け、仮設蔵と復活蔵の「純米大吟醸酒セット」を新たなリターンに追加した。

仙台や東京での食事会や工場見学にも支援が集まった。「支援くださった方と蔵元（佐々木専務）、蔵人が

顔を合わせることができる企画です。私たちの想いを直接伝える良い機会ですし、飲んでくださる方の生の声を聞くこともできるので、支援が集まりうれしいです」と立川さんは話した。

宮城県でも決して有名とは言えない酒蔵が、CFを通じて全国に発信することができた。そして、多くの声を集めることができた。「CFは資金集めだけではなく、プロモーションやテストマーケティングにも使える」と復活酒プロジェクトを立ち上げた立川さんは、大きな手応えを感じている。

大学生の時に、どこに行っても東北の人たちが「おらが街の酒」と地酒に誇りを持っていることを知り、日本酒に魅力を感じるようになった。そして、佐々木酒造店と出会で宝船浪の音のファンとなり、今こうして蔵人として働いている。

「CF成功を糧に、これからもさまざまな形で宝船浪の音の魅力を発信したいと思っています。そのためにも蔵人としてますます酒づくりに精進します」。そう語る立川さんの姿は、達成感と充実感に満ちていた。



### 事業者情報

## 有限会社佐々木酒造店

**所在地** 宮城県名取市関上

**設立** 1871年

**代表取締役** 佐々木加知枝

**従業員** 9人

**WEB** <http://housen-naminooto.com/>





PICK UP 3

クラウドファンディングで  
資金と仲間と自信を獲得！  
魚屋の建設で地域に活気を取り戻す

合同会社はまから [福島県 いわき市]





築地市場の目利きたちの間で「常磐もの」と評価され、高値で取引されていた福島県<sup>ひょうま</sup>の海産物。しかし、津波の直接被害と原発事故の風評被害の二重の苦に見舞われ、ブランドの復興に向け水産関係者が全力を注いでいる。福島県浜通り南部にあるいわき市・久之浜<sup>ひさの しま</sup>も例外ではない。「久之浜の漁業再生の力になりたい!」と移住した漁業女子が、漁師と住民が集まる“みんなのお魚屋さん”を形にするため、クラウドファンディングに挑戦した。

## 試験操業と風評被害に 立ち向かう漁業の街に 新しいスタイルの魚屋が開業。

2020年2月1日、久之浜地区にある商業施設に「おさかなひろば はま水」がオープンした。この日のオープニングイベントは、鮮魚や干物を求める買い物客と地元の魚に興味津々の子どもたちでにぎわいをみせた。

はま水は、魚の加工・直売スペースに、住民と漁師が交流できるシェアスペースを併設した新しい形の鮮魚店である。運営会社の一つ合同会社はまからは、今回、クラウドファンディング（以下、「CF」）による建設資材や備品の購入資金の調達に成功した。プロジェクトマネジャーの榊裕美さんは、「地元の漁師と住民が集まり、交流を深めながら一緒に売り場を作る“みんなのお魚屋さん”を目指します」と笑顔で話した。

いわき市の最北端の漁港を有し、かつて市内で一番の水揚げを誇った久之浜地区では、2011年の津波被害と福島第一原子力発電所の事故による影響で、漁業の自粛を余儀なくされた。13年に「試験操業」という形で限定的に漁業を再開することができたが、水揚げ量は大幅に減少。地元にあった魚の加工場や小売

店の多くが廃業した。榊さんは、久之浜の難しい現実を目の当たりにし、「このまま何もしなければ、街から漁業が消えてしてしまう!」と危機感を覚えたという。

榊さんは、青森県八戸市の出身、都会への強い憧れから高校卒業後は首都圏の大学へ進学し教育について学んだ。授業の一環で、遠洋漁師だった親戚をインタビューし、漁師の豪快な生き様に魅了された。一方で、遠洋漁業の衰退が地域の衰退に直結している現状を知った。

「このインタビューがきっかけで、いつか地元の八戸で漁業を中心とした地域づくりに関わりたいと思うようになりました」。

大学を卒業後は首都圏で就職したものの、漁業への想いを捨てきれずに退職した。大学院で漁業と教育を学んでいた榊さんは、いわき市のNPO関係者から、久之浜のまちづくりについて相談を受けたという。



プロジェクトマネジャー  
榊 裕美さん

## 漁業復興の想いと プロジェクトへの覚悟を CF サイトを通じて全国に発信。

「久之浜は、大学生の時に復興支援ボランティアで訪れた場所でした」。榊さんは、自分が温めていた漁業を軸にした教育事業を提案すると、2017年に移住を決意。NPOのスタッフとして、子ども向けの漁業体験プログラムをスタートさせた。そして、いわき市に移住してから1年半後の2018年12月、地元漁師とNPOスタッフの3人で、合同会社はまからを設立。魚の直売と漁師の体験事業を行う拠点の建設に動き出した。

地元の商業施設の空きテナントを確保できたが、改装に使う資材や必要な備品の購入資金の調達が課題だった。「最初は金融機関からの融資を検討しましたが、小さな会社ではハードルが高く、行き詰まっていました」。そんな時、あるセミナー会場で知り合った地域づくりコーディネーターから、復興庁でクラウドファンディング支援事業を行っていると聞いた。

CFに活路を見いだした榊さんは、9月からプロジェクトの準備に取り掛かった。CFサイトで伝えたいメッセージやリターンの内容などについてメンバーとミーティングを繰り返した。「久之浜の現状やこのプロジェクトの必要性を、直接人々に訴えたい」との思いから、自ら文章を考え、写真やサイトのデザインについても地元をよく知る専門家に依頼した。

目標金額は300万円に設定。リターンは、はま水で加工した水産加工品の詰め合わせを主力に考えた。「とは言え、当時はまだお店そのものがない状態。どんな加工品を作るかも決まっていませんでした」。こう話す榊さんは、「それならば」と支援者のアイデアから加工品を開発するリターンも加えたという。

支援を集める期間は、12月初めから1月末までの2カ月間。はま水のオープンを予定している2月直前までとした。募集は、目標金額に到達しないと1円も支援を受け取ることができない「All or Nothing方式」でチャレンジ。「絶対に成功させる!」という強い決意をメンバー間で共有したかったからだ。

### クラウドファンディング情報

CF開始  
2019/12/3

目標達成日  
2020/1/27

CF終了  
2020/1/31

目標金額 **300万円**

**56日**

CFのタイプ ……All or Nothing方式  
調達金額 ……**3,810,000円 (127%)**  
支援者数 ……**336人**

CFサービス事業者 READYFOR  
CFサイト <https://readyfor.jp/projects/hamakara>







## 支援者の声が自信に。 CF 成功を糧にして これからも挑戦を続ける。

12月3日にCFがスタートすると、事前に周知していた知人らの支援を中心に、最初の1週間で目標の20%ほどの金額が集まった。好調な滑り出しに喜んだのも束の間、翌週になるとペースが落ち着きそのまま年末を迎えようとしていた。「残り1カ月で、ゴールできるのだろうか」という不安から、「オープン延期」の言葉が榊さんの脳裏をよぎったという。

自分の想いと覚悟をCFサイトで伝えきれていないのではないか——。大晦日、帰省するため乗り込んだ新幹線の車内でそんなことを考えていた榊さん。この日から、CFサイトの活動報告欄でプロジェクトを始めた経緯や久之浜との出会いなどについて数回に分けて発信した。「ここまで出会った全ての人へ感謝の気持ちを伝えました」。榊さんの想いが響き、コメント欄にはたくさんのメッセージが寄せられた。

年が明けると、流れが変わった。SNS やイベント、

メディア取材を通してプロジェクトのことを知った人からの応援と支援が加速した。榊さんは「この調子ならいける!」と手応えを感じたという。そして、1月27日に目標金額の300万円をクリア。最終的に381万円の支援を集めた。

はま水がオープンすると、多くのCF支援者が祝福に駆け付けた。「今まで会ったことがない人も遊びに来ていただき、勇気づけられました」と話す榊さん。CFを通じて資金や応援者だけではなく、「自信も手に入れることができました」とにこやかに語った。

2月中旬、はま水のシェアスペースには、大学生の前でプロジェクトについて説明する榊さんの姿があった。話に耳を傾け熱い質問を投げかける学生と、これまでの自分の姿が重なったという。

「皆さんには、勇気をもって踏み出してほしいと伝えました。はま水のオープンが、漁業の衰退で悩む他の地域でも行動を起こすきっかけになればいいなと思っています。だから、私たちもチャレンジを続けていきます!」。



### 事業者情報

## 合同会社はまから

**所在地** 福島県いわき市久之浜町久之浜字北町

**設立** 2018年

**代表** 遠藤 洋介

**従業員** 3人

**WEB** <https://www.facebook.com/hamakarallc/>





株式会社 **いわてラボ**

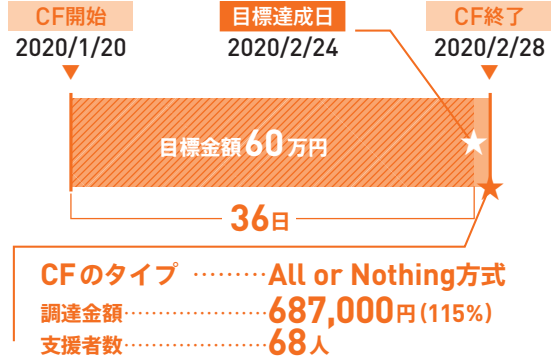
[岩手県 雫石町]



## 温泉浴衣リノベ! ～観光×福祉×伝統工芸で 温泉浴衣をリノベーション～

使えなくなった温泉浴衣を再利用するプロジェクト。宮古ホテル沢田屋（宮古市）とつなぎ温泉・鶯宿温泉・高倉温泉（盛岡市、雫石町）の9旅館から廃棄される温泉浴衣を、東北の伝統工芸である「裂き織り」の技術でコースターにリノベーション。各旅館で使用するほか、新たなお土産品として商品化する。環境問題へ取り組みだけではなく、伝統工芸の発信や障がい者雇用の推進、参加施設・エリアのPRなどを目的。

### クラウドファンディング情報



CFサービス事業者 いしわり

CFサイト <https://ishiwari.iwate.jp/pj/lswY0950710>

### プロジェクトオーナーの声

代表取締役 **照井 貴博**

クラウドファンディングサイトを通じた事業の実施を通じ県内外の多くの皆さまに取り組みを知っていただくことができました。支援者の皆さまとは支援だけでなく継続的な関係を築いていけたらと思います。ご支援ありがとうございました。



### 事業者情報

所在地	岩手県岩手郡雫石町鶯宿
設立	2017年
代表取締役	照井 貴博
従業員	3人
WEB	<a href="https://www.facebook.com/iwate.lab/">https://www.facebook.com/iwate.lab/</a>





有限会社 **神田葡萄園**

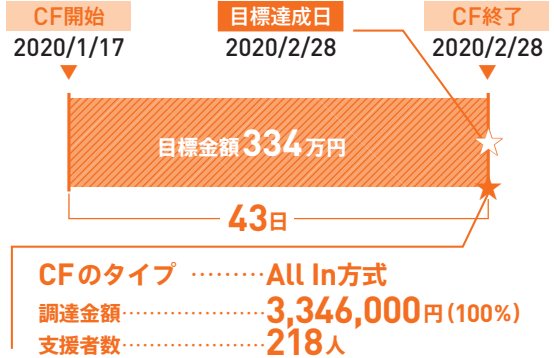
[岩手県 陸前高田市]



## 老舗ぶどう園 6代目の挑戦！ 人が集えるショップへの リノベーション

ぶどう栽培とジュース・ワイン製造を手掛ける地元の老舗企業が、地域の観光コンテンツとにぎわいを創出するプロジェクト。同社が所有する直売所を、ワインを楽しんだり収穫体験後に休憩したりする空間にリノベーションする。ここを拠点に、子ども向けのぶどうの収穫、苗木植え、醸造場見学などの体験イベントや、他の農業や漁業とコラボレーションしたイベントを行うことで、次世代の就農人口の増加や新たな交流人口の拡大にもつなげる。

### クラウドファンディング情報



CFサービス事業者 GoodMorning

CFサイト <https://camp-fire.jp/projects/view/220823>

### プロジェクトオーナーの声

代表取締役 **熊谷 晃弘**

この度は多くの支援をいただき目標を達成することができました。このクラウドファンディングを通じてファンづくりや今後のビジョンをPRする機会にもなったと思います。パトロン様からのご支援は弊社の財産になるはずで。



### 事業者情報

**所在地** 岩手県陸前高田市米崎町字神田

**設立** 1979年

**代表取締役** 熊谷 晃弘

**従業員** 8人

**WEB** <http://0192-55-2222.jp/>



## タヤマスタジオ 株式会社

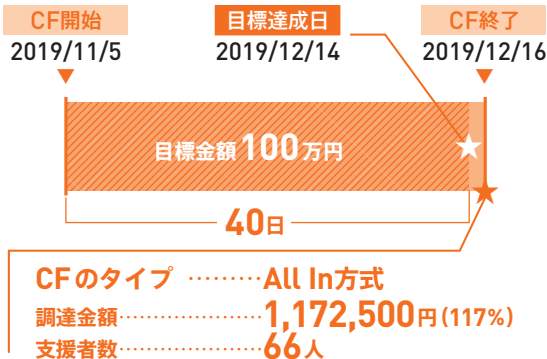
[岩手県 盛岡市]



## 南部鉄瓶「あかいりんご」と共に 400年の伝統技法を 次世代に受け継ぎたい!

伝統工芸品「南部鉄器」の後継者育成プロジェクト。一般的に伝統工芸の世界では、一人前の職人として全ての製作工程に携わるまで長い下積み期間が必要とされる。そこで、担い手不足が課題の伝統産業において、時代の変化に合わせた新しい技能継承のあり方を提案。「あかいりんご」というシンプルな鉄瓶を若手職人が製造する。製品をリターンに設定することで、支援(受注)そのものが若手職人の育成につながる。

### クラウドファンディング情報



CFサービス事業者 GoodMorning

CFサイト <https://camp-fire.jp/projects/view/205509>

### プロジェクトオーナーの声

代表 田山 貴紘

クラウドファンディングというツールを通して、私たちが取り組む伝統工芸の「今」をPRできたこと、たくさんの方から応援をいただけたことで大きな励みになりました。ありがとうございます。



### 事業者情報

所在地	岩手県盛岡市中ノ橋通
設立	2013年
代表	田山 貴紘
従業員	12人
WEB	<a href="http://kanakeno.com">http://kanakeno.com</a>



## 有限会社 宝来館

[岩手県 釜石市]



## 釜石「宝来館」と観光エリアの安全を守る、海と山の災害に負けない避難道を！

台風で被害を受けた避難道の修繕・補強プロジェクト。「浜べの料理宿 宝来館」から裏山に通じる避難道は、震災後（海の災害）に車椅子でも上られる「絆の道」として拡張整備された。2019年の台風19号（山の災害）により一部が破損したことから、海と山の災害の両方に負けない避難道として再生するための資金を調達する。さらに、雨にも強い避難道に整備する補強工事の費用や避難道の活用法を検討するワークショップの開催費などにも充てる。

### クラウドファンディング情報

CF開始  
2019/12/20

CF終了  
2020/2/29

目標金額 700万円

CFのタイプ ……All In方式  
 調達金額 ……5,637,000円 (81%)  
 支援者数 ……260人

CFサービス事業者 GoodMorning

CFサイト <https://camp-fire.jp/projects/view/216452>

### プロジェクトオーナーの声

#### 代表 岩崎 昭子

この度は皆さまからのご支援をいただき、心より感謝申し上げます。私たちの想いはこの海と山に挟まれた地に、存在し続ける事を願い挑戦しました。これからも皆さまと一緒に避難道を作り上げていきたいと思ひます。



### 事業者情報

**所在地** 岩手県釜石市鶉住居町第20地割  
**設立** 1988年  
**代表** 岩崎 昭子  
**従業員** 30人  
**WEB** <https://houraikan.jp/>





## 石巻ウェディング

[宮城県 石巻市]



### 石巻をウェディングの力で 明るい街に！ アトリエを作りたい！

被災した中心市街地にウェディングの拠点を作るプロジェクト。石巻市では、結婚式をするカップルの多くが仙台市内で結婚式を挙げるか、結婚式そのものを挙げないという現状がある。そこで、「街なか」にウェディングアトリエを作ることにより、地元で挙げる結婚式の魅力を発信。美容師やカメラマン、料理人などウェディングに関連する事業者への経済効果をもたらすことで、震災後急激に衰退した中心市街地のにぎわいの創出を目指す。

### クラウドファンディング情報

CF開始 2020/1/14      目標達成日 2020/1/28      CF終了 2020/2/28

目標金額 120万円 ★

15日

CFのタイプ ……All or Nothing方式  
 調達金額 ……1,675,000円 (140%)  
 支援者数 ……136人

CFサービス事業者 READYFOR

CFサイト <https://readyfor.jp/projects/ishinomaki-wedding>

### プロジェクトオーナーの声

代表 豊島 栄美

このプロジェクトを通して、多くの方に知っていただき、またこんなにも多くの方に応援していただいていたのだと再発見できました。ご支援、応援していただいた皆さまに心から感謝しております。



### 事業者情報

所在地 宮城県石巻市大街道東

設立 2015年

代表 豊島 栄美

メンバー 10人

WEB <https://www.ishinomaki-wedding.com/>



## 井原 健児 (個人)

[宮城県 南三陸町]



## 子どもたちが自由に遊べる パークール広場で 南三陸町を元気に!

子どもたちの遊び場を核にした、住民が集まる新たな居場所を創出するプロジェクト。「走る」「跳ぶ」「登る」といった人間の移動動作に重点を置くスポーツ「パークール」で、子どもと大人が一緒になって遊べる広場を整備。併設する飲食スペースでは、南三陸町特産のタコを使ったタコ焼きなどを提供する。調達した資金は、パークール広場の建設・整備費用に充てる。パークール広場を起点とする新たなコミュニティを作り、被災地の活性化を目指す。

### クラウドファンディング情報

CF開始 2019/12/26      目標達成日 2020/01/23      CF終了 2020/01/31

目標金額 80万円 ★

37日

CFのタイプ …… All or Nothing方式  
 調達金額 …… 1,149,000円 (144%)  
 支援者数 …… 101人

CFサービス事業者 READYFOR

CFサイト <https://readyfor.jp/projects/m7m369>

### プロジェクトオーナーの声

南三陸町地域おこし協力隊 井原 健児

準備期間も公開期間も短く、公開後のスタートダッシュもつまずいてしまい、当初は「成功できるのか?」と不安しかありませんでしたが、つながりのある人たち全てに支援・拡散の願いをし続け、公開期間1週間を残して達成する事ができました。興味が応援を、応援が支援を呼んだお陰と本当に感謝しています。



### 事業者情報

所在地 宮城県本吉郡南三陸町志津川天王前  
 設立 2020年オープン予定  
 代表 井原 健児  
 メンバー 1人  
 WEB <https://www.facebook.com/kenji.ihara.98>



一般社団法人 **Granny Rideto**

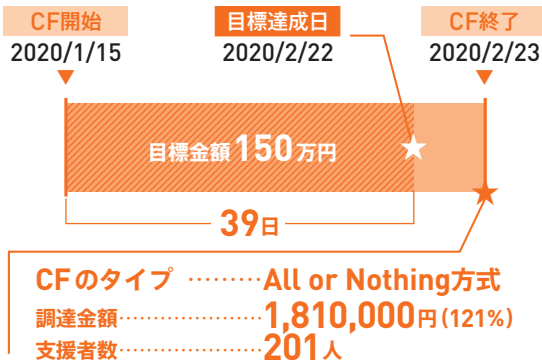
[宮城県 仙台市]



## 出版レーベルを立ち上げ、全国の被災地の復興に役立つ情報を届けたい！

「東北の復興」をテーマとした新たな出版レーベルの設立および事業モデルをまとめた書籍の発売を目指すプロジェクト。「東北復興文庫」の名称でレーベルを立ち上げ、現在も被災地域で独自の取り組みを継続している人に原稿の執筆を依頼。その知見を書籍にまとめることで、全国の被災地再生に取り組む復興に従事する市民、NPO、企業の参考となる事業モデルや知見を発信する。調達した資金は、書籍のデザイン・制作・印刷費などに充てる。

### クラウドファンディング情報



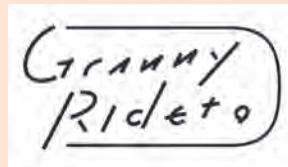
CFサービス事業者 GoodMorning

CFサイト <https://camp-fire.jp/projects/view/219111>

### プロジェクトオーナーの声

代表理事 **桃生 和成**

クラウドファンディングを通して新たなサポーターと出会うことができました。今後もサポーターの皆さんと一緒に出版レーベルを育てていきたいと思っています。チャレンジ中の応援メッセージも力になりました。



### 事業者情報

**所在地** 宮城県仙台市青葉区春日町

**設立** 2016年

**代表理事** 桃生 和成

**従業員** 6人

**WEB** <http://grannyrideto.com/>





## CHOOSE FOODS

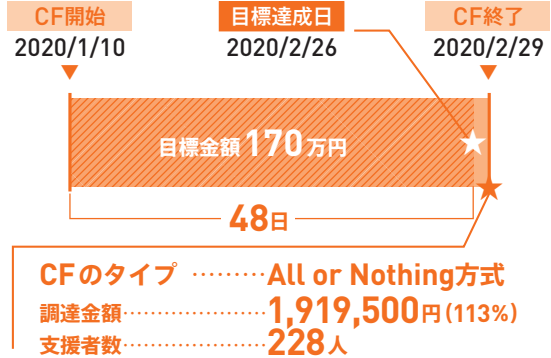
[宮城県 仙台市]



### 宮城のササニシキで ヴィーガンでも食べられる 小麦不使用のクッキーを作りたい!

宮城県産の無農薬ササニシキを製粉し、誰でも安心して食べられるクッキーを作るプロジェクト。津波被害から復活を遂げた農家やハーブ園で生産されたササニシキやハーブなど県産材料を使用し、保存料などの食品添加物は使用しない。さらに、卵やバターなどの動物性食材や特定アレルギー7品目（小麦、卵、乳、そば、落花生、えび、かに）も使用しないことで、アレルギーや宗教にも配慮。クッキー缶の中には、被災地の環境保全の取り組みを紹介したリーフレットを入れ全国に発信する。

### クラウドファンディング情報



CFサービス事業者 GoodMorning

CFサイト <https://camp-fire.jp/projects/view/218531>

### プロジェクトオーナーの声

#### 代表 穴戸 由佳

環境に優しい農業のこと、体に優しいお菓子のこと、そして復興のことを広く知って頂きたい気持ちもあり挑戦しました。たくさんの方に応援して頂き、感謝しています。



### 事業者情報

所在地	宮城県仙台市泉区
設立	2018年
代表	穴戸 由佳
メンバー	1人
WEB	<a href="http://choose-foods.strikingly.com">http://choose-foods.strikingly.com</a>



## Kokage Kitchen

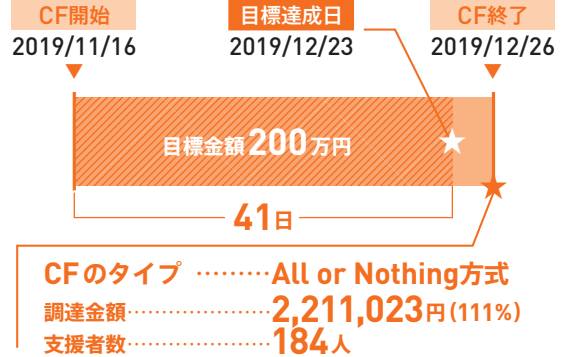
[福島県 川内村]



### 福島県川内村の魅力をのせて 旅するワッフル屋さん、 キッチンカーを作るの巻!

福島県川内村特産のそば粉を使ったワッフルをキッチンカーで販売し、村の魅力を全国に発信するプロジェクト。福島第一原子力発電所の事故で全村避難を余儀なくされていた同村では、農産物の販路獲得が課題になっている。そこで、特産のそば粉を使ったワッフル事業を全国に広げるため、キッチンカー導入の資金を募る。併せて「被災地の風評被害の払拭」「地域に関わる若者のロールモデルづくり」などの効果もねらう。

#### クラウドファンディング情報



CFサービス事業者 GoodMorning

CFサイト <https://camp-fire.jp/projects/view/211180>

#### プロジェクトオーナーの声

##### 代表 大島 草太

大学生が200万円もの資金を募ることに不安がありましたが、川内村内外の多くの方々に支えられ、無事達成することができました。また、今後の仲間になると期待できる支援者との強いつながりが生まれました。



#### 事業者情報

所在地	福島県田村市
設立	2019年
代表	大島 草太
メンバー	1人
WEB	<a href="https://www.facebook.com/KokageKitchen/">https://www.facebook.com/KokageKitchen/</a>



## I ♥ NISHITA プロジェクト

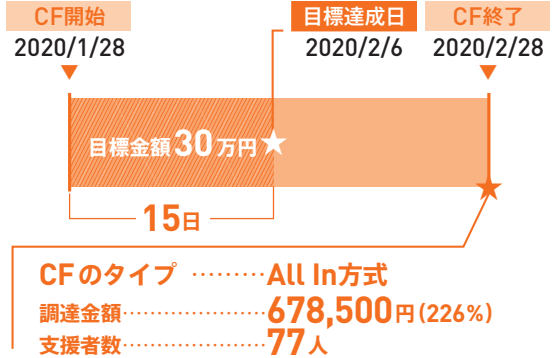
[福島県 郡山市]



## 人口減少の続くふるさとを、 戻りたくなる町にするための 高校生メディアを作る！

高校生がウェブサイトで地域の魅力を発信するプロジェクト。郡山市の北東の山間部にある西田町は、過疎化と少子高齢化が進んでいる。子どもたちが大人になっても、地元に残りたい町、帰ってきたい町を作りたいという思いから、高校生による地域の魅力発信と交流イベントの企画・運営を目指す。調達した資金は、ウェブサイトの制作費用に充てる。ウェブサイトに掲載する情報は、地域の小中学生の調べ学習にも活用される。

### クラウドファンディング情報



CFサービス事業者 GoodMorning

CFサイト <https://camp-fire.jp/projects/view/217237>

### プロジェクトオーナーの声

代表 渡辺 千紘

クラウドファンディング期間内の温かいご支援と励ましのお言葉ありがとうございました。たくさんの人に応援していただいていると分かったことが、次の一歩を踏み出す勇気になりました。これからも応援よろしくお願いします！



### 事業者情報

所在地	福島県郡山市西田町丹伊田字宮作
設立	2019年
代表	渡辺 千紘
メンバー	20人
WEB	—





合資会社 **旭屋**

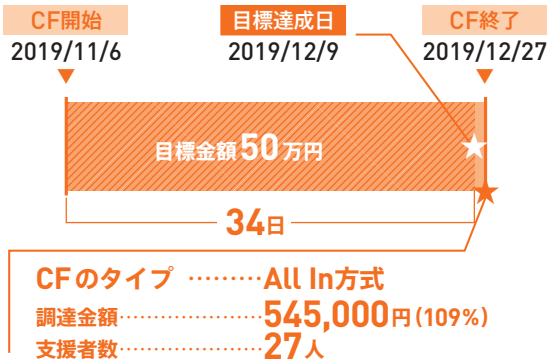
[福島県 相馬市]



## 浪江町から全国へ！ 新食感★ゆでたて&モチモチの太麺 「大人の旨辛焼そば」

地元のB級グルメをアレンジした新商品開発プロジェクト。「なみえ焼そば」は、極太麺に具材はモヤシと豚肉だけというシンプルさが特徴で、2013年に開催された「B1グランプリ」でのゴールドグランプリを獲得したことにより全国でブレイクした。今回、モチモチとしたコシのある生麺タイプの太麺に、「旨辛ソース」をからめる新商品を開発。テストマーケティングとスーパーでの試食会、プレスリリースに係る費用を調達する。

### クラウドファンディング情報



CFサービス事業者 GoodMorning

CFサイト <https://camp-fire.jp/projects/view/196634>

### プロジェクトオーナーの声

代表社員 **鈴木 昭孝**

震災後から、めんの旭屋をご支援していただいた全国各地の方々へ感謝を伝えるとともに、地元の食材を用いた美味しい焼そばを食べてもらい、被災地の食品の知名度向上や地域振興に貢献していきたいと思っております。



### 事業者情報

**所在地** 福島県相馬市馬場野字雨田  
**設立** 1953年  
**代表社員** 鈴木 昭孝  
**従業員** 13人  
**WEB** <http://asahiyaamen.com>



## 株式会社 阿部農縁

[福島県 須賀川市]



## 作る・食べる・笑顔をつなぐ 「SHINSEKIハウス」を 福島 須賀川に!

農業を通じた交流拠点「SHINSEKIハウス」の建設プロジェクト。近隣の地方都市や首都圏から訪れた人が、農業体験と地元の高齢者との交流などを通して癒される場所。さらには、地域の高齢者にとっても、農作業や料理の提供などを通してやりがいを感じ、生きがいを見つけられる場所を目指す。「人を癒し元気にする」という農業の力に注目し、「過ごす・つくる・たべる・かんじる」をテーマとした新たな交流の場を創出する。

### クラウドファンディング情報

CF開始 2020/1/16      目標達成日 2020/2/17      CF終了 2020/02/28

目標金額 **300万円** ★

**33日**

CFのタイプ …… All or Nothing方式  
 調達金額 …… **4,790,000円 (160%)**  
 支援者数 …… **292人**

CFサービス事業者 READYFOR

CFサイト <https://readyfor.jp/projects/SHINSEKI>

### プロジェクトオーナーの声

#### 代表取締役 寺山佐智子

ご縁に支えられて、多くの「つながり」をいただきました。農業の新しい形・SHINSEKIプロジェクトで、福島と元気でいられるようなお手伝いをこれからも、楽しみます。感謝いたします。



### 事業者情報

所在地 福島県須賀川市和田沓掛  
 設立 2014年  
 代表取締役 寺山佐智子  
 従業員 6人  
 WEB <http://abe-nouen.com/>



## 竹 藤

[福島県 会津若松市]



### 1624 年創業 会津の商家「竹藤」を後世へ。 人々の行き交う場に。

築 178 年、会津最古の商家再生プロジェクト。江戸時代には竹問屋を営み、現在は竹細工や民芸品などを販売する竹藤は、店舗などが登録有形文化財の認定を受けている。後継者不足や建物の老朽化などの理由で、周囲の老舗が廃業や建物の取り壊しに追い込まれる中、建物の保存を決断。生活の場だった母屋を古民家カフェとしてリニューアルし、会津の商家の歴史を伝える場としたい。修繕・改修費用の一部を調達することで、会津のにぎわい拠点の創出を目指す。

#### クラウドファンディング情報



CFのタイプ …… All or Nothing方式  
 調達金額 …… 2,868,000円 (120%)  
 支援者数 …… 231人

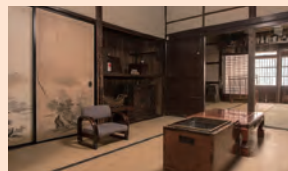
CFサービス事業者 READYFOR

CFサイト <https://readyfor.jp/projects/taketou>

#### プロジェクトオーナーの声

##### 代表 笠間和歌子

店のファンの方、会津の歴史が好きな方に後継者のいないこの危機伝えたい。修復費用を助けてほしい。クラウドファンディングを知った時、実家の危機を救う希望が見えました。関わっていただいた方全てに感謝いたします。



#### 事業者情報

所在地 福島県会津若松市中央  
 創業 1624年  
 代表 笠間和歌子  
 従業員 4人  
 WEB <https://www.taketou.net/>





## 二本松霞ヶ城 四季花火 プロジェクト

[福島県 二本松市]



## 一人ひとつの想いを 大輪の花火に！ 二本松霞ヶ城四季花火

東日本大震災からまだ活気を取り戻しきれていない二本松市に、季節ごとに花火を打ち上げるイベントを開催することで元気な姿を取り戻す、地域の新たな魅力創出プロジェクト。専門家の指導のもと、参加者が作成した花火を打ち上げる「参加型花火大会」を年4回実施する。イベントを継続させることで、地域のにぎわい創出や地域に愛される行事として定着することを目指す。さらには、若い世代に関心をもってもらうことで、市外への流出防止やリターン者の増加につなげる。今回は、夏・秋開催分の資金調達に挑戦する。

### クラウドファンディング情報

CF開始 2020/01/11      目標達成日 2020/02/17      CF終了 2020/02/25



CFのタイプ ……All or Nothing方式  
 調達金額 ……1,431,000円 (119%)  
 支援者数 ……97人

CFサービス事業者 READYFOR

CFサイト <https://readyfor.jp/projects/nihonmatsushikihanabi>

### プロジェクトオーナーの声

代表 武田 良典

募集が始まる前は「1円も集まらなかったらどうしよう」と心配し、始まってからは、日々のご支援の動きに一喜一憂し、心配してばかりの1カ月でした。こうして無事に目標を達成できたこと、本当にうれしく思います。



### 事業者情報

所在地 福島県二本松市二伊滝  
 設立 2020年  
 代表 武田 良典  
 メンバー 3人  
 WEB —



株式会社 **ホップジャパン**

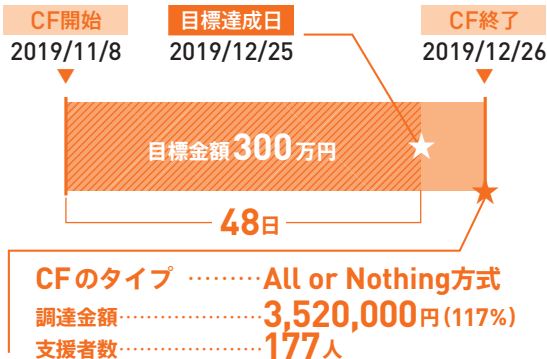
[福島県 田村市]



## 福島県産ビールと 「人」×「もの」×「こと」を つなぐブルワリー

農作物の6次産業化により地域に新たな産業を興すプロジェクト。福島第一原子力発電所事故の影響で休眠状態にある市の公共施設の一部を改修し、地産ホップで作るクラフトビール醸造所の開設を目指す。昭和中期まで福島県内で盛んに行われたホップ栽培が、震災後に田村市内で復活している。これを原料にするビール醸造所を市内に置くことにより、ホップとビールを中心に地域経済が循環する産業モデルを実現させる。

### クラウドファンディング情報



CFサービス事業者 READYFOR

CFサイト <https://readyfor.jp/projects/hopjapan>

### プロジェクトオーナーの声

代表取締役 **本間 誠**

今回のクラウドファンディングを通じて沢山の方々からご支援とエネルギーをいただき、本当に感謝しています。人とのつながりの大切さを改めて感じ、大きな財産として事業に活かしていきたいと思ひます。



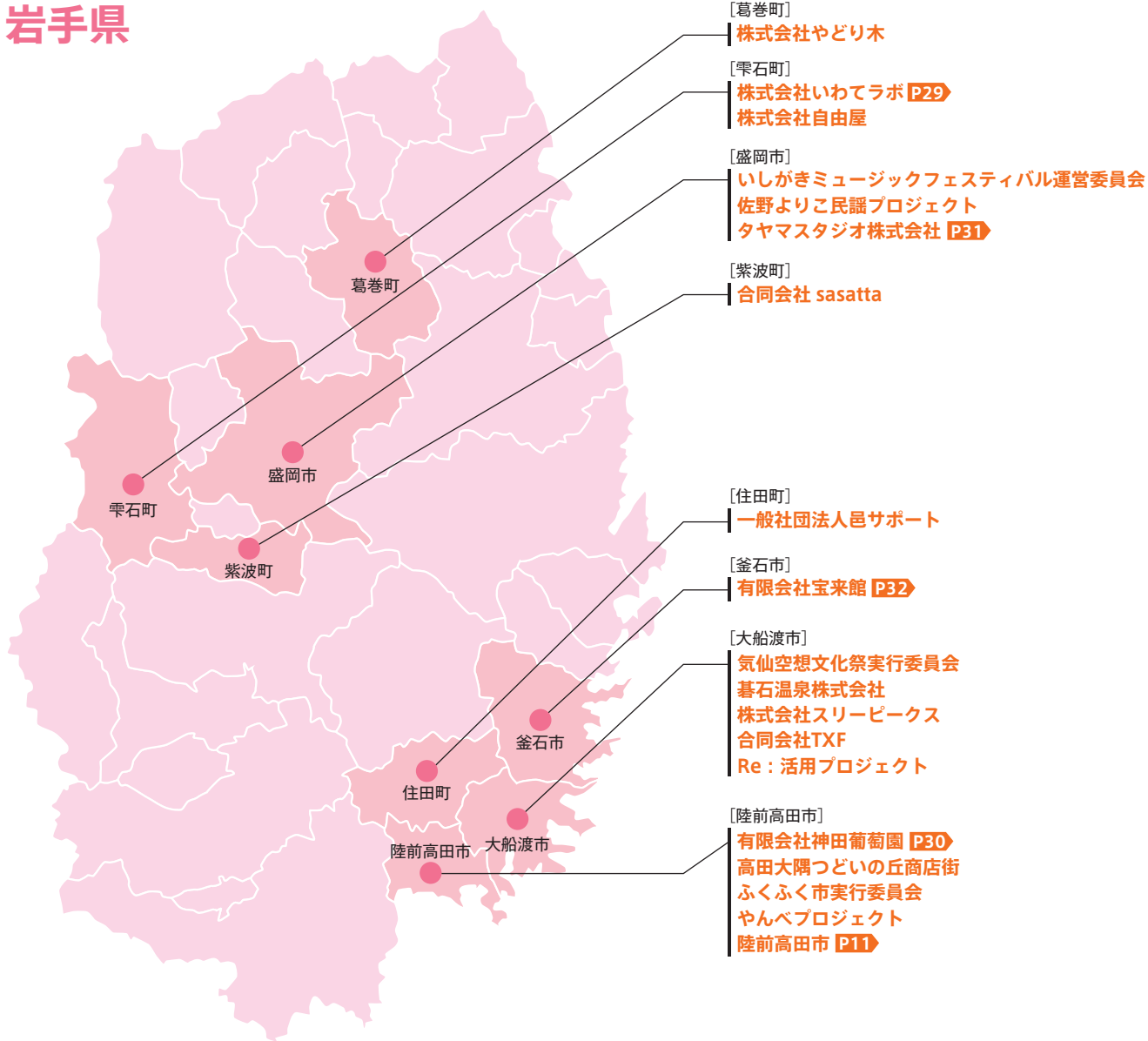
### 事業者情報

**所在地** 福島県田村市都路町岩井沢字北向  
**設立** 2015年  
**代表取締役** 本間 誠  
**従業員** 2人  
**WEB** <https://hopjapan.com/>

# Appendix 1

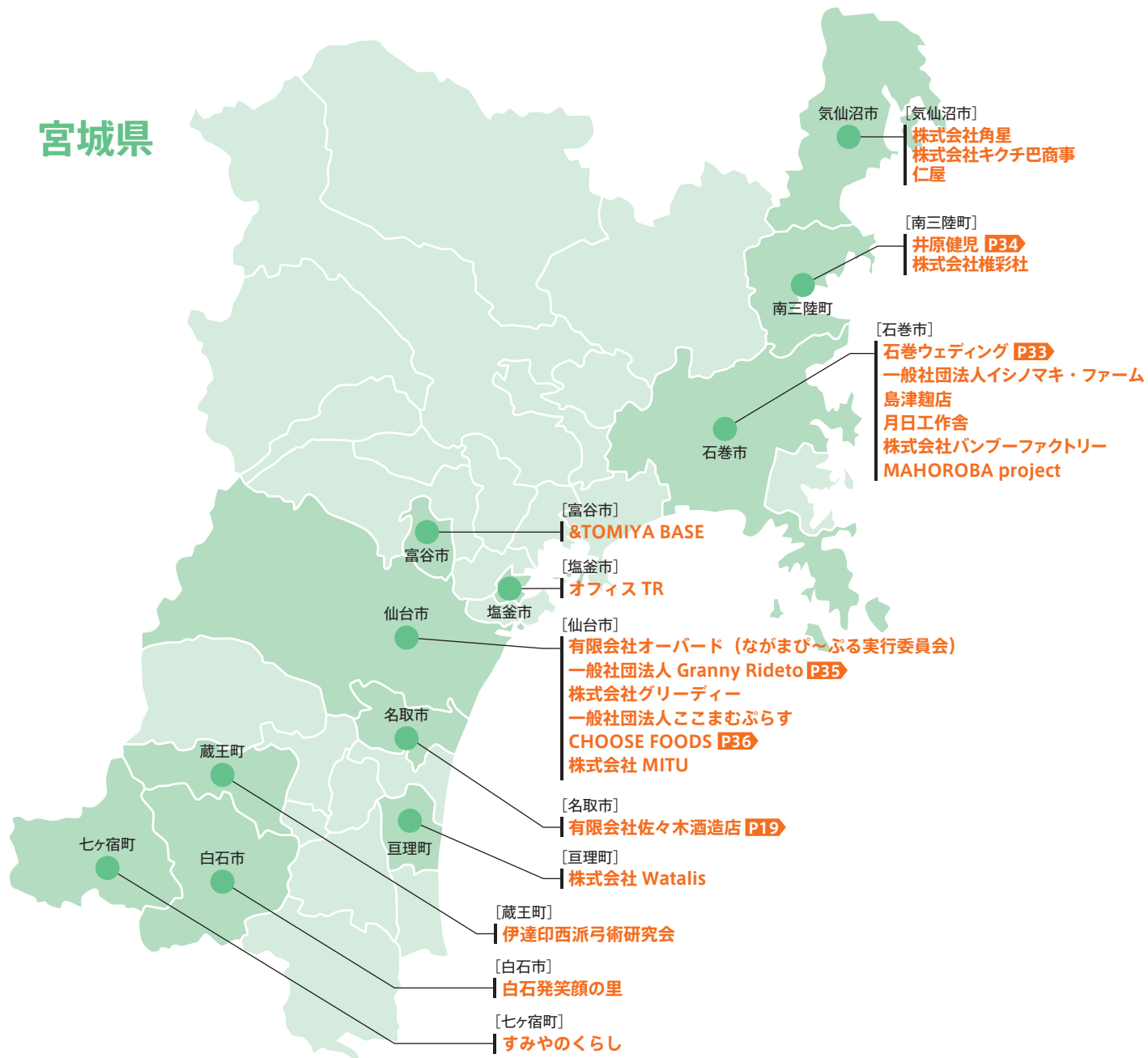
令和元年度 復興庁クラウドファンディング支援事業 採択事業者マップ

## 岩手県





# 宮城県





# Appendix 2

令和元年度 復興クラウドファンディング支援事業 採択案件一覧

## 岩手県

地域	プロジェクト実施者	プロジェクト概要	目標金額	掲載
大船渡市	気仙空想文化祭実行委員会	大船渡市にある、被災した中心市街地を再生整備した街「キャッセン大船渡エリア」にて、アニメ・特撮・コスプレの大型野外イベント『気仙空想文化祭』を開催。空想をテーマに、世代間、地域間をつなげることで、地域の復興を促進するためのプロジェクト。	¥4,400,000	
大船渡市	碁石温泉株式会社	遊休民宿をリノベーションして絶景の海を見渡すインドアグランピング場を作るプロジェクト。	¥4,616,000	
大船渡市	株式会社スリーピークス	岩手県大船渡市で「THREE PEAKS」というワイナリーが、100年先もワイン文化が続くよう、みんなでつくるワインプロジェクト。ぶどう畑から新しいワイン文化の創出を目指す。	¥2,000,000	
大船渡市	合同会社 TXF	多世代がエクストリームスポーツで盛り上がる事が出来る、日本発の本格的 BMX コースとパークの併設施設を廃校になった小学校に作り東北全体を盛り上げるプロジェクト。	¥6,900,000	
大船渡市	Re：活用プロジェクト	震災以降活気を失ってしまった地域に、遊休施設となっていた倉庫をオシャレな「オープンダイニング」へとリノベーションすることで地域の活性化を目指すプロジェクト。	¥1,200,000	
釜石市	有限会社宝来館	震災後に建設し台風 19 号の被害を受けた、海辺の根浜地区にある避難道「絆の道」を、海の災害にも山の災害にも強い避難道として再生するプロジェクト。	¥7,000,000	P32
葛巻町	株式会社やどり木	岩手県葛巻町で唯一のコミュニティカフェに薪ストーブを使いぬくもりある暖かな空間を作ることで、街に暖かな火を灯すプロジェクト。	¥1,250,000	
雫石町	株式会社いわてラボ	ゴミとなって捨てられてしまう「温泉浴衣」を伝統工芸である「裂き織り」によってリノベーションし、温泉旅館にて使用するコースターとして再利用することを目的としたプロジェクト。	¥600,000	P29



地域	プロジェクト実施者	プロジェクト概要	目標金額	掲載
雫石町	株式会社自由屋	初心者向けのスキー・スノーボード施設を作り、施設を使って育った選手が世界で活躍することを目指すプロジェクト。	¥1,000,000	
紫波町	合同会社 sasatta	若者が学び続ける拠点を紫波町の日詰商店街に作るため空き家をリノベーションし、コワーキングスペースを併設したカフェを立ち上げるプロジェクト。	¥1,500,000	
住田町	一般社団法人邑サポート	プロ写真家の写真のチカラで岩手県住田町の奇祭『水しぎ』を盛り上げ、地域の活性化、にぎわいを創出するプロジェクト。	¥1,000,000	
盛岡市	いしがきミュージックフェスティバル運営委員会	盛岡市中心市街地で開催される「いしがきミュージックフェスティバル」は、音楽だけでなく、写真展やトークライブ、花火などの各種コンテンツを充実させ、中心市街地を活性化するプロジェクト。	¥3,000,000	
盛岡市	佐野よりこ 民謡プロジェクト	震災の教訓をふるさとの民謡（うた）で伝え残したい！ 民謡歌手・佐野よりこ故郷民謡集CD制作プロジェクト。	¥3,300,000	
盛岡市	タヤマスタジオ株式会社	400年の南部鉄器の歴史の中で育まれた技法を、次世代に受け継いでもらうためのプロジェクト。	¥1,000,000	P31
陸前高田市	有限会社神田葡萄園	老舗ぶどう園6代目の挑戦！ 街のにぎわいを創出するために「人が集える場所」づくりに挑戦するプロジェクト。	¥3,340,000	P30
陸前高田市	高田大隅つどの丘商店街	東日本大震災からの復興が進む岩手県陸前高田市で、仮設商店街を大規模改修して、復興の狼煙をあげる小さな村「たまご村」を作るプロジェクト。	¥8,000,000	
陸前高田市	ふくふく市実行委員会	岩手県陸前高田市に、人のにぎわう「市」を復活させ、街なかにかつてのにぎわいを復活させるプロジェクト。	¥760,000	
陸前高田市	やんべプロジェクト	みんなでひとつトタン屋根の下。共同所有の『家』で岩手県陸前高田市内の17世帯の集落のにぎわいを作るプロジェクト。	¥1,600,000	
陸前高田市	陸前高田市	シンガポールとのアートを通じた文化交流を進め、誰もが活躍できる共生の復興まちづくりを実現を目指すプロジェクト。	¥2,400,000	P11

# 宮城県

地域	プロジェクト実施者	プロジェクト概要	目標金額	掲載
石巻市	石巻ウェディング	石巻をウェディングの力で明るい街に！ 街なかにウェディングを身近に感じてもらえる拠点を作るプロジェクト。	¥1,200,000	P33
石巻市	一般社団法人 イシノマキ・ファーム	美味しいビールの向こうに畑がある！ 石巻から国産ホップの魅力をもっと広めることを目指すプロジェクト。	¥2,040,000	
石巻市	島津麴店	110年技術で糀屋が挑戦する新しいジャンルの『甘糀茶』を和紅茶・緑茶をベースに看板商品『華糀（あまさけ）』と合わせた新商品のプロジェクト。	¥950,000	
石巻市	月日工作舎	簡単手軽な「ペイントアップサイクル」のワークショップを定期的に開催することで、街と人をつなぎ、街なかの活性化を図るプロジェクト。	¥810,000	
石巻市	株式会社 バンブーファクトリー	活性炭を土壌に加え、無農薬、さらに天日干しで米を作り、子どもたちに農業の素晴らしさを伝え、次代に紡いでいくためのプロジェクト。	¥1,800,000	
石巻市	MAHOROPA project	宮城県石巻市が持つ自然や商店街で、普段は得られない映画体験を通して、石巻を映画の街にするプロジェクト。	¥1,311,000	
気仙沼市	株式会社角星	震災で全壊した宮城の老舗酒蔵・角星が音で醸した日本酒「水鳥記-紅月-」を通じて、気仙沼の認知向上・活性化を目指したプロジェクト。	¥2,000,000	
気仙沼市	株式会社キクチ巴商事	気仙沼の新たな銘菓を世に送り出したい！ 名産ふかひれを使ったお菓子上で気仙沼を元気にするためのプロジェクト。	¥800,000	
気仙沼市	仁屋	100% 気仙沼唐桑産のホタテを作る、ホタテ漁師の挑戦を応援するプロジェクト。	¥1,000,000	
蔵王町	伊達印西派弓術研究会	歴史ある伊達印西派弓術を守り伝承し、東北の地域活性化に貢献することを目指すプロジェクト。	¥500,000	
塩釜市	オフィス TR	家族と共に被災三県を巡る【歌と舞踊の無料出張公演】を実施し、無料公演を通じて東北の新しい未来を描くプロジェクト。	¥2,800,000	
七ヶ宿町	すみやのくらし	炭・火のある暮らしの新しいスタンダードを創出のための拠点「Charcoal BASE」を作るプロジェクト。	¥2,540,000	
白石市	白石笑顔の里	築400年の古民家をリノベーションし、地元産オーガニック野菜を使用した料理や料理教室で、白石の農業の活性化につなげるとともに、多様な人が集まれるコミュニティを作るプロジェクト。	¥5,000,000	

地 域	プロジェクト実施者	プロジェクト概要	目標金額	掲載
仙台市	有限会社オーバード (ながまび〜ぶる実行委員会)	『スロコミ』を合言葉にあらゆる世代が混ざり合えるゆる〜いつながりを創出し、多くの社会事業と連携し、障がい者・LGBT・外国人といったさまざまなマイノリティが混ざり合う空間へと拡大することを目指すプロジェクト。	¥500,000	
仙台市	一般社団法人 Granny Rideto	「東北復興文庫」という出版レーベルを東日本大震災の被災地である宮城県で立ち上げ、震災復興に関わる実践者を執筆者とし、出版を目指すプロジェクト。	¥1,500,000	P35
仙台市	株式会社グリーディー	女性が地方にいても学び続け、活躍できる場と機会を作りたい！宮城に幸せな女性を増やし、循環する持続可能な進化系コミュニティを目指すプロジェクト。	¥2,000,000	
仙台市	一般社団法人 ここまむぶらす	仙台に子どもと一緒にママがチャレンジできる場所を作るためのプロジェクト。	¥1,500,000	
仙台市	CHOOSE FOODS	被災地域でメダカと一緒に育った無農薬ササニシキやハーブなどの安心安全な食材で作った、アレルギーや宗教などで食事制限がある人も一緒に食べられるクッキーを全国に届けるプロジェクト。	¥1,700,000	P36
仙台市	株式会社 MITU	地産地消の天然甘味料「スイートソルガムシロップ」で、働きたい障がいのある人の就労機会を創出するプロジェクト。	¥1,000,000	
富谷市	&TOMIYA BASE	地域の魅力をみんなと一緒に作りたい！「&」で心つながジェラート屋を始めるプロジェクト。	¥2,000,000	
名取市	有限会社佐々木酒造店	街ごと流され、復興計画でかさ上げされた土地に戻った酒蔵が作る、限定日本酒のプロジェクト。	¥3,000,000	P17
南三陸町	井原健児	南三陸町に子どもたちが気軽に自由に体を動かして遊べる場所、地域の大人の方も集まって楽しめるスペースを作るプロジェクト。	¥800,000	P34
南三陸町	株式会社権彩社	震災で大きな被害を受けるも、生産ハウスを震災前の規模に回復させた事業者が、南三陸の復興のシンボルとして、山の幸シタケを全国に広げるプロジェクト。	¥2,000,000	
亘理町	株式会社 Watalis	着物を手仕事で巾着袋や名刺入れ・ぬいぐるみ等に再生し、着物に込められた「想い」をカタチを変え、たくさんの方に渡すアップサイクル事業に取り組むプロジェクト。	¥1,200,000	



# 福島県

地域	プロジェクト実施者	プロジェクト概要	目標金額	掲載
会津若松市	竹藤	1624年創業・会津の商家「竹藤」を後世へ。カフェへのリノベーションで人々の行き交う場を会津に創出し街の活性化を目指すプロジェクト。	¥2,400,000	P41
いわき市	合同会社はまから	久之浜に地域の人や子どもたちが今まで以上に海と人が豊かな関係性を築けることを目指し、漁師と地元の人が集い、互いの想いを伝えあいながら売り場を作っていく、“みんなのお魚屋さん”を作るプロジェクト。	¥3,000,000	P23
川内村	Kokage Kitchen	福島県の川内村に魅せられた大学生が、大きな可能性を秘めた小さな村のわくわくとおいしさを、日本全国へお伝えするためにキッチンカーを走らせ届けるプロジェクト。	¥2,000,000	P37
川内村	町分オルタナギャラリー	コミュニティー民泊施設『町分オルタナギャラリー』を修繕し、地元のイベントやオルタナで行うカルチャー体験を通じて愛と自由を感じる交流を深める場所づくりのプロジェクト。	¥2,000,000	
郡山市	I♥NISHITA プロジェクト	人口減少の続くふるさとを、戻りたくなる町にするために高校生がウェブメディアを作るプロジェクト。	¥300,000	P38
郡山市	いちご家族	いちご農家に新規就農した事業者が、薪ストーブを囲んで語り合える直売所を作るプロジェクト。	¥5,000,000	
郡山市	『浜通り、2000-03、福島』 出版プロジェクト	震災と原発事故で失われる以前の、美しく平和だった福島県浜通り地方の記録を形に残し、故郷への郷愁、被災地のイメージ払しょくを目指すプロジェクト。	¥1,500,000	
郡山市	株式会社孫の手	フードカートを畑や牧草地などへ出動させ、人と地域と食をつなぐツアーで、地産地消や旬を楽しむ食文化を提案し、福島でワクワクする夢の「FoodCamp」を実現するプロジェクト。	¥4,000,000	
須賀川市	株式会社阿部農縁	農業を通じて「すぞす・つくる・たべる・かんじる」楽しみを届ける場所、「SHINSEKIハウス」の建設プロジェクト。	¥3,000,000	P40
相馬市	合資会社旭屋	浪江町で愛され続けてきた『なみえ焼そば』でB1グランプリでゴールドグランプリを獲得した老舗の製麺会社が、これまでのB級グルメとは一味違った“贅沢な味”を追求し、全国へ広げるプロジェクト。	¥500,000	P39

地 域	プロジェクト実施者	プロジェクト概要	目標金額	掲載
田村市	株式会社ホップジャパン	田村市で「都路ホップガーデンブルワリー」を開設し、オンリーワンクラフトビール事業を作るプロジェクト。	¥3,000,000	P43
二本松市	二本松霞ヶ城 四季花火プロジェクト	東日本大震災から、まだ活気を取り戻しきれていない福島県二本松市に、二本松を照らす花火を打ち上げ、元気な姿を取り戻すことを目指すプロジェクト。	¥1,200,000	P42
福島市	ともだち・カワン・ コミュニティ	福島の今をマレーシア人と共に発信する映画「ともだち・カワンの FUKUSHIMA」を撮り、福島とマレーシアが交流できる機会を作るプロジェクト。	¥1,000,000	
福島市	FOME	福島の自然を丸ごと体験できるキャンプ場「FOME BASE」の拡張し、彩な福島の自然をたくさんの方に伝え、福島から全国へ、全世界へ発信することを目指すプロジェクト。	¥3,000,000	
南相馬市	一般社団法人いちばん星 南相馬プロジェクト	「里山いちばん星」に大型すべり台を設置し、子どもたちに外で遊ぶ楽しさ・自然の良さを体感してもらい、南相馬市の安全性や里山の必要性を実感してもらおう場所づくりのプロジェクト。	¥1,500,000	
南相馬市	南相馬市	南相馬市の先進的な活動を体験し、地域に愛着を持ち、自分で考え・行動に表す子どもたちが成長し、その中から自分たちも地域の役に立ちたいという想いを持つ、若い世代が生まれることを目指すプロジェクト。	¥3,573,000	
本宮市	大天狗酒造株式会社	台風 19 号で被災した大天狗酒造を「地域のつながりを生む酒蔵」として復活させ、町のにぎわいを取り戻すプロジェクト。	¥3,000,000	

# Appendix 3

令和元年度 復興庁クラウドファンディング支援事業 実績一覧

## □ 地域別調達件数の状況 (単位：件)

	合 計	岩手県	宮城県	福島県	その他
a 申請件数	81 (119)	24 (29)	33 (45)	24 (39)	— (6)
b 調達実施件数	60 (80)	19 (22)	24 (25)	17 (31)	— (2)
c 成 立	55 (75)	18 (22)	21 (23)	16 (28)	— (2)
d 不成立	5 (5)	1 (-)	3 (2)	1 (3)	— (-)
e 調達率 (= c ÷ a)	68% (63%)	75% (76%)	64% (51%)	67% (72%)	— (33%)
(参考) 種類別件数	60 (80)	19 (22)	24 (25)	17 (31)	— (2)
購入型 (予約販売型)	58 (76)	18 (19)	24 (24)	16 (31)	— (2)
寄付型	— (-)	— (-)	— (-)	— (-)	— (-)
投融資型	— (2)	— (1)	— (1)	— (-)	— (-)
その他 (ガバメントクラウドファンディング)	2 (2)	1 (2)	— (-)	1 (-)	— (-)
(参考) 実施方法別件数	60 (80)	19 (22)	24 (25)	17 (31)	— (2)
All or Nothing 方式	25 (20)	5 (3)	9 (7)	11 (10)	— (-)
All In 方式	35 (60)	14 (19)	15 (18)	6 (21)	— (2)

## □ 地域別調達金額の状況 (単位：百万円)

	合 計	岩手県	宮城県	福島県	その他
a 目標金額	135 (225)	55 (88)	40 (60)	40 (71)	— (6)
b 成 立	126 (219)	50 (88)	37 (57)	38 (68)	— (6)
c 不成立	9 (6)	5 (-)	3 (3)	2 (3)	— (-)
d 調達金額	103 (172)	35 (59)	27 (47)	41 (63)	— (2)
e 調達率 (= d ÷ b)	82% (78%)	70% (67%)	73% (82%)	107% (94%)	— (35%)
(参考) 種類別調達金額	103 (172)	35 (59)	27 (47)	41 (63)	— (2)
購入型 (予約販売型)	101 (113)	33 (21)	27 (27)	41 (63)	— (2)
寄付型	— (-)	— (-)	— (-)	— (-)	— (-)
投融資型	— (54)	— (34)	— (20)	— (-)	— (-)
その他 (ガバメントクラウドファンディング)	2 (5)	2 (5)	— (-)	0 (-)	— (-)
(参考) 実施方法別調達金額	103 (172)	35 (59)	27 (47)	41 (63)	— (2)
All or Nothing 方式	50 (35)	4 (2)	12 (11)	34 (22)	— (-)
All In 方式	53 (136)	31 (57)	15 (36)	7 (42)	— (2)

(※) 端数が発生する場合は小数点以下四捨五入しているため、合計値は、内訳の合計と必ずしも一致しない。

(※) ( ) 内の数字は前年度の実績値。

(※) 「(不) 成立」とは、ALL or NOTHING (目標金額に達しなければプロジェクトが成立しない) 方式で目標金額が集まらない場合、または ALL IN (目標金額が達成せずとも支援額に応じてプロジェクトが実施される方式) で支援が得られない場合を意味する。

お問い合わせ先

## 復興庁 企業連携推進室

電話：03-6328-0261

Fax：03-6328-2999

Mail：kigyو-rs@cas.go.jp

参事官 滝本 浩司

政策調査官 柴田 茂輝

政策調査官 山田 悠路

主査 高岡 隆行



復興庁企業連携推進室  
イメージキャラクター

か  
**結ちゃん**

「結ちゃん」は復興庁フェイスブック上で  
キャラクター案を公募して制作されたものです。





